

# unifv

## 東日本ユニオンNIIGATA

[http://www.geocities.jp/higashihonunion\\_niigata/](http://www.geocities.jp/higashihonunion_niigata/)

2018年 3月 5日発行

第 35 号 (通巻219号)



JR東日本労働組合新潟地方本部  
発行者:星山 圭 編集者:教育・広報部

### スローガン

**JR東日本に働くすべての労働者のために  
東日本ユニオンが先頭に立ち、  
職場からの運動と全組合員で取り組むことに拘り、  
安全で働きやすい職場を構築しよう!**

# JR東日本労働組合新潟地方本部 第4回定期地方委員会

2月24日、新潟東映ホテルにおいて「新潟地本 第4回定期地方委員会」を開催しました。当日は、相次ぐ雪害や要員不足で疲れているにも関わらず、約170名の組合員が結集し、大会以降の成果と教訓、春闘に向けて決意などが語られ成功裡に終了しました。

星山新潟地本委員長挨拶では、「雪害において様々な問題が発生している。異常時は何でもありなのか。人間労働である。誤った会社認識と経営姿勢に対し安全経協を支社に打診したが、会社はその必要性を否定している。よって、申し入れで対処していく。また雪害時に、あらゆる職場で我が組合員が問題意識を持って是正に向け、会社とも向き合い対応してきた。これまで積み上げてきた実践と議論があったからである。エルダーについて。2月に入りやっと提示。契約期限までの猶予が2週間もない。だからスケジュールに拘る。組合員の悩みに応えられる体制を組んでいく。春闘について。これまでのたたかひの結果、拡大があった。我々の姿勢、職場での振る舞ひの成果である。たたかひなくして拡大はない。賃金引上げ、職場諸問題の解決。36協定も4月末で切れる。我々は何をすべきか。全組合員の団結と行動が生命線である」と述べられました。

質疑では、12名の委員から「春闘について」「エルダー社員制度について」「雪害対応について」「様々な効率化施策について」などの発言がありました。それを受け、地本としても職場からの取り組みを通じた組織の強化・拡大に向け全組合員で奮闘していくことを確認しました。

**今こそ労働組合の必要性を一人ひとりが考え、  
「東日本ユニオン」の旗のもとに結集しよう!**